

「幹細胞の培養法・培養工学のためのコンソーシアム」 第8回シンポジウム

多能性幹細胞の培養法と培養工学の発展と融合は、目的に応じた細胞を大量に必要とする再生医療では極めて重要であると考えられ、産学が一体となり、その要素技術を持ち寄って議論できる産学コンソーシアムを設立し、例年シンポジウムを開催してまいりました。この度、iPS/ES細胞や間葉系幹細胞の培養法・培養工学の融合のための成果発表、議論の場として、第8回シンポジウムを開催させて頂きたく、ご案内申し上げます。

日時：2024年10月19日（土）

時間：講演会13：00～17：00 情報交換会17:00～18:00（予定）

場所：大阪大学吹田キャンパス **銀杏会館**（現地開催のみ）

参加受付URL：<https://forms.office.com/r/NFumSFFwAx>

参加費：無料（情報交換会：500円）

定員：250名* *定員を超えるお申込をいただいた場合は、調整させていただく場合がございます。

共同主催：大阪大学大学院工学研究科

（テクノアリーナ最先端研究拠点「細胞製造コトづくり拠点」）

後援：バイオコミュニティ関西（Biock）・一般社団法人日本再生医療学会

【開会挨拶】

13:00- 紀ノ岡 正博 先生（大阪大学大学院 工学研究科）

【特別講演】（講演50分・質疑応答10分）

13:10- 座長：紀ノ岡 正博 先生（大阪大学大学院 工学研究科）

「培養をデザインしてiPS免疫細胞を誘導する」

金子 新 先生 京都大学 iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門・筑波大学 医学医療系臨床医学域

【講演】（講演10分、質疑応答15分）

14:10- 座長：関口 清俊 先生（大阪大学蛋白質研究所マトリクソーム科学（ニッピ）寄附研究部門）

①「細胞医薬品製造の自動化への取り組み」

高木 康弘 先生 アステラス製薬株式会社 原薬研究所 モダリティ技術研究室

②「生体模倣システムとヒトES/iPS細胞を用いたマイクロ小腸システムの開発」

出口 清香 先生 京都大学 iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門

【休憩】15:00-15:20

15:20- 座長：中川 誠人 先生（京都大学 iPS細胞研究所 /大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点）

③「集団オルガノイドパネルの逆多重化と遺伝型-表現型解析」

根本 孝裕 先生 大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点

④「大脳オルガノイドを用いた脳梗塞に対する細胞移植治療の開発」

土井 大輔 先生 京都大学 iPS細胞研究所 臨床応用研究部門

⑤「構造を制御した3次元ヒト心筋組織構築」

松浦 勝久 先生 東京女子医科大学 医学部 薬理学講座

【閉会挨拶】

16:35- 関口 清俊 先生（大阪大学蛋白質研究所マトリクソーム科学（ニッピ）寄附研究部門）

【情報交換会】17:00-18:00 銀杏会館2階 レストランミネルバにて

ご参加お申込み：幹細胞の培養法・培養工学のためのコンソーシアム第8回シンポジウム

